

# 災害派遣職員レポート

No.39 H23.7.7

陸前高田第一中学校避難所で活動中の真榮田職員の報告です。

真榮田職員はこの避難所に派遣される職員の殿軍（しんがり）です。

避難所の皆さんが最後の一人まで仮設住宅に移られるのを、しっかりと見守ってくれるでしょう。

高田一中の避難所へ来て3日が経過しました。様子を報告します。

到着後、大澤さんより引き継ぎを受けました。西さんも大澤さんもととても元気でした。

私が避難所入りした日から夜勤 準夜勤がなくなり、6時から20時までの勤務のみになりました。対象者の方はみんな明るくお互いのことを思いやり生活しているように感じました。これまで7人いた対象者が6日1組の親子が仮設住宅へ引っ越し5人になりました。私は、掃除・食事の手伝い・体操の手伝い・対象者と会話・仮設住宅への引っ越しの手伝いなどを行っています。

他人同士がひとつ屋根の下で仕切りもなく生活しているので、ギスギスしているだろうと想像していましたが、実際は皆さん明るくお互いを思いやり本当の家族の様に生活されています。

この様なコミュニティを作り上げることが出来たのは、高田の皆さんの明るさとボランティアの方を始めとする多くの方（もちろん中心会の前任の方）の力だと思います。

私自身もこの信頼関係を崩さないようしっかり引き継ぎ、また皆さんが少しでもスムーズに仮設住宅での生活に移れる様に、与えられた期間を精一杯がんばりたいと思います。

## 三浦副所長より

今までの中心会職員の働きかけによって、家族のような絆が育かれています。

これは、派遣に行った職員、そして施設に残ってカバーしてくれていた職員の力だと思います。本当にありがたいです。対象の方は徐々に仮設に移られて行きますが、残っている方たちは不安な気持ちもお持ちだと思います。どのようにその支えになるか、考えながら実行してくれると思います。